

ライフサポート：はた

幹事会での「学習会」のご報告 (皆さんの、ご参加をお待ちしています！)

N056 : 2019. 12. 13

四万十市中村大橋通 7 丁目 1-24
連合高知西地協内 TEL:34-9191
発行責任者：事務局 伊達幸雄

色々な組織やクラブに参加している方も多いと思いますが、何か面白い話や、イベントの広報などがあればお知らせ下さい。皆さんからの、投稿をお待ちしています。

< 10月2日(水) 10:00~11:00 >

場所：連合高知西地域協議会

講演：「農福連携」

講師：安芸福祉保健所

主幹 公文 一也 さん



公文さんは、県の職員として13年間にわたり幡多で働く中で、幡多福祉保健所の「保健医療福祉連携（幡多ネットワーク会議）」の取り組みなどに関わってきました。

その後、安芸福祉保健所に異動となり「引きこもり」や「統合失調症」など「色々な生きづらさを抱えた方」の支援に取り組む中で、安芸地域にはそうしたネットワークがなく、それぞれの機関が個別的に支援を行うという、公文さん自身も大変困った状況になっていました。

こうした状況を克服しようと各関係機関との連携を模索していく中で「安芸がナスの生産が日本一ということもあり、今回のような農業と福祉の連携が生まれた。」ということで、これまでの取り組みや事例について話して頂きました。

【福祉保健所の業務】

- ・総務保護課 → 庶務、生活保護業務等
- ・地域支援室 → 地域保健医療福祉保健・医療福祉の人材育成等
- ・衛生環境課 → 環境保全、食品保健等
- ☆健康障害課 → 健康増進、母子児童、☆障害保健福祉



- ・難病・相談支援関係
- 《精神保健福祉業務》
- ・精神保健福祉講座 ・嘱託医相談
- ・自殺対策（ネットワーク会議）、よろず相談会
- ・就労支援（農福連携）
- ・地域移行・地域定着支援事業
- ・緊急対応（医療保護や措置入院対応）
- ・精神保健福祉相談→来所、訪問、受診援助、等

このように、福祉保健所所管の業務はたくさんありますが、色の付いている業務などを公文さんが担当しています。

これらへの日常的な業務としては、年間延べ650件ほどにもなっていますが、保健師の方と2人で対応しているとのことですので、大変忙しい日々を送っていることは想像に難くありません。これから、超高齢化社会や格差の拡大などに伴い、要支援者の増加が想定されますが、担当者の頑張りにも限界が・・・。

相談内容としては、

- 精神障害者が家で暴れている
- 認知症の人が徘徊している
- 外人が家で暴れている
- 子供が親、祖母を虐待している
- お金がない
- 仕事がない
- 人生の記憶がない
- 引越がしたい
- ゴミ屋敷の整理
- 自傷行為をして救急で運ばれた
- 酒を飲んで暴れている人がいる

など、本来の業務と掛離れた内容も沢山あり、福祉保健所だけでは問題は解決しないが「☆関係機関との信頼関係があればなんとかなる」が信条で、相談は絶対に断らないとのことです。(頼もしい限りです。)

具体的な事例としては、

●70代 女性 50年ひきこもり

(相談内容) 地域包括支援センターより、50年ひきこもりの女性が、極めて不衛生な状態で家で動けなくなっている。医療機関へ搬送してもらいたい。

(対応) 悪臭がひどい中、真冬であったが窓全開で警察車両にシートをかけて精神科に搬送。

●20代 男性

(相談内容) 休日に警察から、倒れていた男性を保護し病院へ搬送したが記憶が無いため困っている。なんとかならないか？

(対応) 生活保護を申請。〇〇杜 HP が入院を受け入れてくれた。その後、一人暮らしを目指し、アパートも借りたが、記憶が戻り出身県に帰る

●60代男性 ナス農家

(相談内容) 農家をしていたが、仕事がうまく回らず、借金を重ねなんともならず破産をしている。高齢という事もあり仕事が無い。しかし、生活保護の世話にはなりたくない。

(対応) ネットワークで、ナスのハウスを紹介し就職する。ナス作業は、やっていた事なので本人、雇用主とも大喜び(*^▽^*)

など、福祉保健所単独で解決することが困難なケースが殆どです。このためネットワークづくりがどうしても必要とのことで、下記のように取り組んでいるとのことです。

《ネットワーク会議の特徴》

- 各機関の仕事の紹介
- 必ずグループワークを行い、各機関の顔と仕事を知る
(顔の見える関係作り)

結果 ～仕事で連携出来るようになる～

《支援の流れ》

1、関係機関から連絡票が福祉保健所に届いた後の対応



- ①すみやかに当事者に連絡し面接日を設定
- ②訪問か来所で面接 (場合によっては市保健師と同伴)
- ③事例によってはネットワークメンバーにつなぐ (他機関調整)
- ④困難事例は、ケース検討会の開催
- ⑤定期的な連絡会で情報の共有



写真のようにビジュアル的には少々厳ついですが、取り組みからも分かるように話せば「義理と人情に厚い、心優しい男」ということが直ぐわかります。

< 11月6日（水）10:00～11:00 >

場所：連合高知西地域協議会

講演：「高知県政報告」

講師：高知県議会議員 石井 孝 さん



石井県議には、これまでも県政報告を行って頂きましたが、ご存知のとおり今年の4月7日投開票の県議会議員選挙において、2期目の当選を果たされましたので、当選以降のご本人の活動状況と、県政（主に幡多地域に関する事）の状況について講演して頂きました。

まず、前任期では8人会派で産業振興土木委員会に所属して活動していたが、今期は2名減の6人会派となり、議員数37分の6という状況で、同じ委員会と競馬組合議会に所属して活動している。

この他、4月以降の出先機関調査や6月定例会、要望陳情現地確認などについての概要説明があり、9月議会の会派代表質問の要旨についての説明と、陳情への対応について詳細な説明がありました。

《 9月議会代表質問要旨 》

1. 知事の政治姿勢について

これまで、知事の政治姿勢について質問したことはなかったが、代表質問なので知事の姿勢について質問の必要あり。知事が後継者指名後、「知事選応援に力を入れすぎているのでは。それよりも現在抱えている困難な課題への対応への引継ぎなどが大切なのは。」との思いからの質問。

2. 東京オリパラの事前合宿の誘致について

事前合宿の誘致に伴い、外国との様々な分野との交流も必要と考える他。

3. 消費税の増税について

庶民への消費税増税と法人税減税を繰り返す、国の財政運営についての所見他。

4. 管理型産業廃棄物最終処分場について

安全担保のためには、複数業者による地質・ボーリング調査が好ましいと考える。

5. 元ルネサス高知工場従業員の雇用について（商工労働部長）

丸三産業（株）への元従業員の雇用状況と今後の展望他。

6. 観光振興について（観光振興部長）

れんけい高知広域都市圏と県観光施策との連携。ニーズ把握他。



7. 四万十川について

観光資源としての四万十川と、流域振興に関する条例の見直し他。

8. 保育について（教育長）

保育士不足への対応と、待機児童解消。保護者のニーズと市町村の保育所統廃合他。

9. 発達障害と療育について

発達障害への早期発見施策。療育センターを含めた受け皿拡大他。

この他、地域からの陳情への対応について、写真等を用いて詳しい説明がありました。（書面の都合で、概略で部分的な内容となっています。）

< 12月4日（水）10:00~11:00 >

場所：連合高知西地域協議会

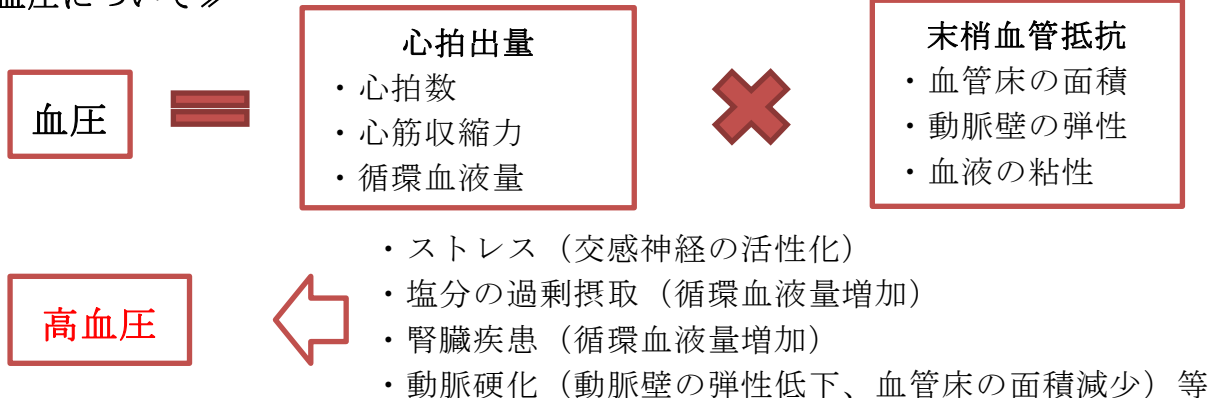
講演：「高齢期の健康づくり」

講師：幡多福祉保健所主査 児玉 佳奈 Dr



幡多ライフの構成組織には、現職組織である連合高知西地協の組合員の皆さんもいますが、平日の活動の殆どが高退連の皆さんであることもあり、「高齢者の健康」に関する、ご講演をして頂きました。内容については下記のとおりです。

《高血圧について》



血圧と高血圧は上記のような関係があるが、高血圧については全体の9割近くを占める「本態性高血圧」と、臓器や神経疾患などによる「二次性高血圧」がある。

高血圧は、自覚症状がないため「サイレントキラー」と呼ばれており、色々な病気につながるため、家庭血圧では、概ね収縮期（115~129）拡張期（75以下）が理想とされている。（家庭血圧＝普段の環境で測定した血圧）

《フレイルについて》

加齢とともに骨や関節、筋肉などが衰え心身の活力が低下して、生活機能障害・要介護状態・死亡などに陥る可能性が高くなった状態をいうが、「運動」や「食事」・「社会参加」など正しい生活習慣を行えば、改善や進行を遅らせることが出来る。

加齢による変化を止めることは難しい⇒だからこそ予防が大切！

継続可能な簡単なことを始めよう⇒食事や運動など、規則正しい生活リズムの実践！

《インフルエンザ対策》

- ・A、B、Cの3型がある。（流行的な広がりを見せるのはA型とB型）
- ・インフルエンザワクチンには、A型2種類、B型2種類の4種類入っている。
- ・感染経路は、「飛沫」と「接触」によるものがあり、症状としては・発熱（通常38℃以上の高熱）・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛や関節痛・上気道炎症状（咳、鼻汁、咽頭痛）などがあるが、いわゆる「風邪」に比べて全身症状が強い。（約1週間で改善）
- ・なぜ予防が必要なのかは、肺炎などの合併症が発生し、重症化の可能性がある。

※予防対策としては、「手洗い」・「うがい」をしっかりと行い、アルコール手指消毒も有効だが、しっかり乾燥させることが重要。

などについて詳しく説明して頂き、大変解りやすい講演でした。



< 10月26日(土) >

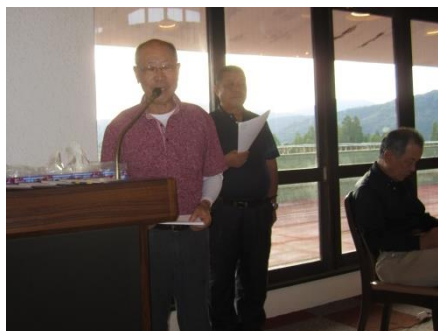
第15回チャリティーゴルフ大会開のご報告

交流と親睦を目的に開催されてきた本ゴルフ大会は、この15回からライフサポートセンターと「こくみん共済coop」「四国労金」との三者共催となり、去る10月26日(土)四万十カントリークラブで146名の参加のもと開催されました。



今回も天気には恵まれ、真っ青な秋空に会心のショットを放つ人もいれば、深いラフや再三入るバンカーに手こずり思うようなスコアにならない人もいましたが、参加者全員気持ち良い汗をかく一日を過ごしました。

プレー後の閉会式は横田ライフ会長、こくみん共済coop、四国労金よりそれぞれ挨拶があり、チャリティー金が今回は三原村社会福祉協議会に寄贈されました。つづく、お待たせの表彰式ではブービー賞から飛び賞、そしてベストテンの発表と大中小の賞品授与に会場は大盛り上がるうちに無事終了いたしました。



最後になりましたが、本大会に協賛して頂いた連合高知、労働者福祉協議会、中村クリニック様、並びに大会の成功にご協力頂いた仲間の皆さんに感謝申し上げます。

幡多地区労福協 会長 今倉傳男



< 11月2日(土) >

ルンルン・・・セラピーウォーク

今年は、天狗高原セラピーロードを楽しむ企画、人気のイベントで募集を始めるとすぐに定数に達したと聞いた。

11月2日早朝、昔の娘さんと昔の青年たちが元気な声でサニーマートの駐車場に集合して出発した。

まずは、私の下手な挨拶をさせてもらい、次はどこでトイレ休憩を取るかの説明があり、まずは「ゆういんぐ」で、続いて「布施ヶ坂」の道の駅に止まり皆さんすっきりして一路天狗高原のホテル駐車場へ着いた。

ホテルでセラピー弁当を受け取り、山男・伊達さんの準備体操指導、幾久幹事の注意事項の説明あり、健脚組とセラピーロードを歩く組に別れ、健脚組が21人、ロード組が18人で出発。

見ごろの紅葉は、温暖化の影響かまだ紅葉は早かったが、澄み切った空やきれいなオゾンの空気をいっぱい吸うことが出来た。遠くには石灰岩を採取している鳥形山が見えたのも良かった。

予定の2時に天狗高原へお別れ、「布施ヶ坂」の道の駅では、土産買いたい病が爆発、更にカワウソの里、「ゆういんぐ」にも寄り皆さんリフレッシュして少女と少年にかえって、帰って行った。準備された、幾久・曾根・武山さんに感謝！

幡多ライフ 副会長 松岡和男

健脚組の皆さん



鳥形山



< 11月16日 (土) >

幡多ライフ「釣り大会」のご報告

昨年は、宿毛新港で行いましたが、今年も第一回目と同じ土佐清水市の「あしずり港」で行いました。

18名参加での大会となりましたが、天気も写真のとおり雲一つない晴天で、気温もそれほど寒くなく絶好の釣り日和となりました。

参加者の中には、「持って来た竿袋に竿が入っていない。」と釣る前からガックリのMさんや、のんびり太公望を決め込むご夫妻等、競争心ゼロの大会となりました。

釣果については、前回の「あしずり港」での「釣り大会」より、だいぶ大きめの魚が釣れており、ろうきん（中村支店）の若者がルアー釣りも行っていたようで、写真のようにアジやカマスも釣れていました。大物賞は西地協事務局の武山さんの「40cm近いグレ」でした。

(只今、ブッチギリで事務局3連覇中)

入賞者は以下のとおりです。

幡多ライフサポートセンター ≪第4回 釣り大会 各賞≫		
太いで賞	1位	武山
	2位	西村
	3位	松廣屋
長いで賞	1位	山本 勝音
	2位	森澤
	3位	窪内
特別賞 (1人で多く)	1人	幾久
五目賞 (色々な魚)	1位	渡邊
	2位	熊谷
珍魚賞	1人	宮上
ファミリー賞	1人	今倉・葛本
めでたいで賞 (赤い魚)	1人	伊達
ポーズで賞 (ジャンケン大会)	1位	岡崎
	2位	曾根
	3位	山本源次
がんばったで賞 (ジャンケン負けた人)	2人	岡村
		宮本

朝の集合



~~~~~お知らせ~~~~~



## 第2回幡多ライフ新春囲碁大会

下記のとおり、幡多ライフ主催の囲碁大会を行いますので参加される方は、1月21日(火)までに、下記までご連絡ください。  
対戦はハンデを付けた個人戦のみです。

日時：2020年1月25日(土) 9:00～

場所：連合高知西地域協議会 会議室

連絡先：連合高知西地域協議会 事務局

TEL：0880-34-9191 FAX：0880-34-9192

会費：1,000円



### 譲りたいもの・欲しい物コーナー

あなたやお知り合いの方で、捨てるのはもったいない物、逆に誰か譲ってくれる方はいないかな～という時はご一報下さい。(有償・無償、匿名=自由)

※〈事務局で物品の保管は出来ませんのでご了承ください〉

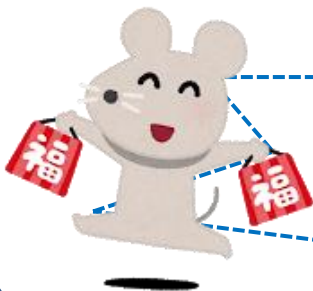


連絡先：連合高知西地域協議会 事務局  
TEL 0880-34-9191 FAX 0880-34-9192  
E-mail: [nishi-chikyo@kochi.jtuc-rengo.jp](mailto:nishi-chikyo@kochi.jtuc-rengo.jp)



(希望物品情報)

| 品名 | 有償・無償 | 物品の状況  | 希望者 |
|----|-------|--------|-----|
| 大鍋 | 相談    | 使用可能な物 | 幾久  |



2019年「お世話になりました。」

来年も宜しくお願いいたします！

